内分泌・代謝内科



診療部長・診療科長
田上　哲也

専門医資格等　日本内科学会　認定内科医・総合内科専門医・指導医、近畿支部評議員
日本内分泌学会　内分泌代謝科（内科）専門医・指導医・教育責任者、評議員
日本甲状腺学会　専門医、評議員、理事
厚生労働省　臨床研修指導医
京都大学医学部　臨床教授・講師
京都大学　医学博士

専門分野　内科、内分泌・代謝

得意疾患　内分泌・代謝疾患、甲状腺疾患

□ スタッフ

平成30年10月1日時点

	氏　　名	専門医資格等	専門分野	専門分野
医　　師	立木　美香	日本内科学会　認定内科医・総合内科専門医 日本内分泌学会　内分泌代謝科（内科）専門医・指導医 日本高血圧学会　専門医 臨床研修指導医 東京女子医科大学　医学博士 日本内分泌学会　内分泌代謝科専門医	内科 内分泌・代謝	高血圧・副腎疾患
医　　師	馬越　洋宣	日本内科学会　認定内科医 臨床研修指導医	内科 内分泌・代謝	高血圧・副腎疾患
レジデント	廣嶋　佳歩	日本内分泌学会　内分泌代謝科専門医 日本内科学会　認定内科医	内科、内分泌・代謝	内分泌疾患
レジデント	天野　　綾	日本内科学会　認定医 日本内分泌学会　内分泌代謝科専門医 日本甲状腺学会　専門医	内科、内分泌・代謝	甲状腺疾患
レジデント	石原　裕己	日本内科学会　認定医	内科、内分泌・代謝	
専修医	横本　真希	日本内科学会　認定内科医 日本糖尿病学会　専門医 日本骨粗鬆症学会　認定医 島根大学　医学博士	内科 内分泌・代謝	骨代謝疾患
専修医	兼子　大輝	日本内科学会　認定医	内科、内分泌・代謝	内分泌疾患
専攻医	須川　　琢		内科、内分泌・代謝	内分泌疾患
非常勤医師	小笠原辰樹	日本内科学会　認定内科医	内科 内分泌・代謝	高血圧・副腎疾患

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本内分泌学会研修施設 日本甲状腺学会認定施設 日本高血圧学会認定施設

● 内分泌代謝疾患とは「ホルモンの乱れに起因する病気」を総称するものです。下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、性ホルモンの異常をきたす疾患の他、内分泌疾患を疑う必要のある、高血圧、糖尿病、肥満、高脂血症などの生活習慣病、電解質異常、骨粗鬆症なども対象としており、糖尿病センターと連携して治療にあたっています。

● 地域における内分泌代謝疾患の専門診療を担っており、1999年には内分泌代謝性疾患に関する高度専門医療施設（準ナショナルセンター）として国の指定を受けています。全国の内分泌・代謝疾患の「専門医療施設」と内分泌・代謝疾患ネットワークを構築しています。また、日本内分泌学会認定教育施設および日本甲状腺学会認定専門医施設に認定されています。

● 診療のモットー

1．内分泌代謝疾患に関する、良質で高水準の医療を提供しています。
2．満足のいく十分な説明を行い、安心できる医療を提供しています。
3．十分な診療情報提供と逆紹介により、病診連携を促進しています。

□ 主な対象疾患

●下垂体疾患

下垂体インシデンタローマ：脳ドックなど、CTやMRIで偶然見つかった下垂体腫瘍の機能評価をします。
下垂体機能亢進症：先端巨大症（アクロメガリー）、クッシング病（下垂体性クッシング症候群）、プロラクチン産生下垂体腫瘍（プロラクチノーマ）、TSH産生下垂体腫瘍（中枢性甲状腺機能亢進症）などです。糖尿病や肥満、不順月経の原因になります。
下垂体機能低下症：シーハン症候群（出産後下垂体機能低下症）などの汎下垂体機能低下症、ACTH単独欠損症（下垂体性副腎不全）、成長ホルモン分泌不全症、リンパ球性下垂体炎、中枢性尿崩症などがあります。無月経や低身長、低血圧・低血糖、口渇・多飲・多尿などが主徴候となります。小児科からのトランジション（引き継ぎ治療）も大切です。

●甲状腺疾患

甲状腺腫：学校検診や人間ドックなどで指摘された甲状腺腫の評価をします。
甲状腺インシデンタローマ：頸動脈エコーなどで偶然見つかった甲状腺腫瘤の良性・悪性の判定をします。甲状腺機能亢進症：バセドウ病のほか、プランマー病（機能性結節）、妊娠性甲状腺機能亢進症があります。眼球突出や心房細動がきっかけで見つかることもあります。振戦や筋力低下の原因にもなります。コントロール不良のバセドウ病にはアイソトープ治療（^{131}I内用療法）も考えてみてください。
破壊性甲状腺中毒症：発熱・前頸部痛を主訴とする亜急性甲状腺炎や、橋本病をベースとした無痛性甲状腺炎、インターフェロンやアミオダロンなどによる薬剤性甲状腺中毒症があります。
甲状腺機能低下症：原因として橋本病（慢性甲状腺炎）が最も多いですが、先天性甲状腺機能低下症や薬剤性甲状腺機能低下症（向精神薬など）も少なくありません。便秘や体重増加、皮膚の乾燥、顔のむくみ、脱毛などを訴えます。

●副甲状腺疾患

高カルシウム血症：副甲状腺腫による原発性副甲状腺機能亢進症や悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症、ビタミンD中毒があります。尿路結石を繰り返します。
低カルシウム血症：成人では特発性副甲状腺機能低下症があります。小児では、先天性副甲状腺機能低下症や偽性副甲状腺機能低下症があります。
骨粗鬆症：高齢化に伴い、閉経後の原発性骨粗鬆症が増加しています。ステロイドホルモンによる続発性骨粗鬆症にも注意が必要です。

●副腎疾患

副腎インシデンタローマ：CTやMRIで偶然見つかった副腎腫瘍の機能評価をします。
副腎皮質機能亢進症：原発性アルドステロン症やクッシング症候群などがあります。多くは副腎腫瘍が原因です。高血圧や糖尿病、メタボリック症候群の原因になります。
副腎髄質機能亢進症：褐色細胞腫や傍神経節腫が原因です。術後数年後に転移が見つかるケースも少なくありません。発作性の高血圧が特徴です。
副腎皮質機能低下症：アヂソン病や先天性副腎過形成などが原因となります。急性副腎不全（副腎クリーゼ）を発症することがあります。

●性腺疾患

ターナー症候群、クラインフェルター症候群、多嚢胞性卵巣症候群などです。

●内分泌性高血圧
高血圧の約15%はホルモンの異常による内分泌性高血圧で、下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎、腎臓などのホルモン過剰が原因となります。適確な診断と治療で治癒可能なことが多いので、専門医の受診を勧めます。高血圧の～10%に原発性アルドステロン症が見つかります。
●メタボリックシンドローム
高血圧、肥満、糖尿病などの生活習慣病の中にも内分泌の病気が隠れています。
●サルコペニア
加齢によって筋肉量が減り、握力や歩く速度が低下するなど、身体機能に影響がでる状態。日常生活に支障がでるのみならず、転倒・骨折、生活習慣病、認知症などのさまざまな病気のリスクとなります。
●その他
腎性尿崩症、多発性内分泌腺腫症(MEN Ⅰ型, MEN Ⅱ型)
電解質異常（低カリウム血症、低ナトリウム血症など）、高脂血症、高尿酸血症など、その他の内分泌代謝疾患

□ 診療（業務）内容

●外来では、血液検査、画像検査（レントゲン、CT、MRI、アイソトープ検査や甲状腺エコー）、甲状腺の細胞診などを行っています。遺伝子診断・遺伝相談、セカンドオピニオン外来を実施しています。本年度より新たに骨粗鬆症・サルコペニア専門外来を開設しました。
●入院では、上記疾患の診断と治療の他、バセドウ病のアイソトープ治療、甲状腺眼症のステロイドパルス療法、原発性アルドステロン症の副腎静脈サンプリング検査などを実施しています。

□ 診療実績（平成30年度）

入院患者数

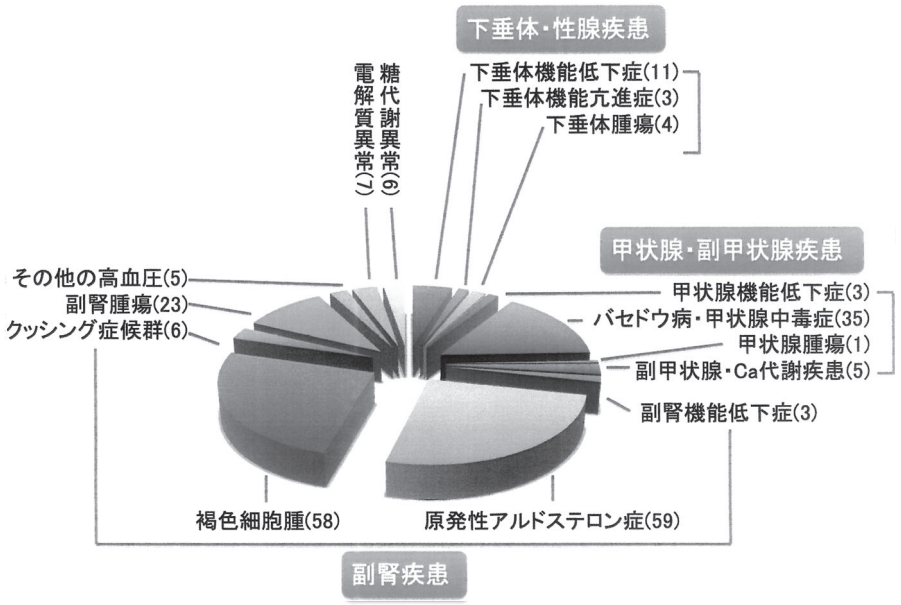
1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
3.6名	214名	6.0日

外来患者数

1日平均総患者数	年間初診患者数
58.0名	1,123名

主な検査の件数など

甲状腺エコー	甲状腺細胞診	副腎静脈サンプリング
1,585名	140件	22件



〈福島県県外甲状腺検査〉

平成23年3月11日に発生した東日本大震災によって、東京電力福島第一原子力発電所では、放射性物質の放出を伴う事故(以下、福島第一原発事故という)が発生した。この事故は、国際原子力・放射線事象評価尺度(International Nuclear and Radiological Event Scale: INES)において、1986年4月26日に旧ソビエト連邦(現ウクライナ)で発生したチェルノブイリ原子力発電所事故(以下「チェルノブイリ原発事故」という)と同等の「7」(暫定)とされている。チェルノブイリ原発事故においては、事故直後に食品等の規制がなされなかったことなどに起因し、周辺住民の放射性ヨウ素による内部被ばくが拡大し、小児の甲状腺がんが激増する事態となった。このことから、福島第一原発事故においても小児の甲状腺がん発症への懸念が高まっている。このため、福島県では県民の健康見守り事業である「県民健康管理調査」を実施し、その中で、福島第一原発事故発生時に18歳以下の小児であった者に対する甲状腺検査を行っている。

「県民健康管理調査」事業は、福島第一原発事故による放射性物質の拡散や避難等を踏まえ、県民の被ばく線量の評価を行うとともに、県民の健康状態を把握し、疾病の予防、早期発見、早期治療につなげることで、将来にわたる県民の健康維持・増進を図ることを目的としている。財源には、国及び福島県からの出資金並びに東京電力株式会社から福島県への賠償金等から構成される「福島県民健康管理基金」が充てられている。検査・診断等は、福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センターが主体となって行っている。県民健康管理調査は、外部被ばく線量の推計を目的とした「基本調査」と、健康状態の把握を目的とした「詳細調査」から構成されている。

甲状腺検査

事故当時18歳以下の小児(平成4年4月2日以降に生まれた者)を対象とし、以下の2つの検査から構成されている。

● 先行検査 平成23年10月から平成26年3月末までに行われる、1回目の甲状腺検査

● 本格検査 平成26年4月以降、20歳までは2年ごと、それ以降は5年ごとに継続して行われる甲状腺検査

チェルノブイリ原発事故のデータから、小児甲状腺がんが増加するのは事故後4〜5年を経過して以降とされている。このことを踏まえつつ、事故直後に開始された先行検査は、福島第一原発事故後3年以内の小児の甲状腺の状態を把握することで、放射線被ばくによる影響が考えにくい時点での疾患の頻度を記録し、将来の健康管理の土台をつくることを目的としている。一方、事故後3年を経て開始される予定の本格検査は、放射線被ばくの影響についての追跡調査と健康管理を目的としている。平成25年現在行われているのは先行検査である。

先行検査はさらに、対象者全員に対して行われる一次検査と、一次検査で疑わしい所見のあった者に対してのみ行われる、診断確定のための二次検査で構成される。

一次検査は甲状腺エコー検査(超音波検査)である。二次検査は甲状腺エコー検査に加え、採血・尿検査が行われるほか、必要な場合は細胞診(甲状腺の細胞を採取して行う検査)が行われる。

京都医療センター内分泌・代謝内科では、京都府下への避難者（京都府内居住者）を対象に一次検査と二次検査を実施している。

	福島甲状腺エコー
2012年度	9件
2013年度	26件
2014年度	9件
2015年度	21件
2016年度	11件
2017年度	11件
2018年度	10件

□ 活動報告（学会・研究発表など）

分類	演者（当院）	タイトル	学会名	開催地	発表年月日	会期
国内学会	成瀬 光栄, 立木 美香, 馬越 洋宜,横本 真希, 田上 哲也, 島津 章	二次性高血圧の診断と治療 褐色細胞腫・パラガングリオーマの診断と治療　現状と課題	第115回日本内科学会	京都	2018.4.15	2018.4.13-15
国内学会	濱中 佳歩[廣嶋], 笹井 有美子,兼子 大輝, 横本 真希, 馬越 洋宜,立木 美香, 浅原 哲子, 成瀬 光栄,島津 章, 濱 祥代, 田上 哲也	TRAb値とTSAb値に乖離を認めた高齢男性の甲状腺眼症の1例	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.26	2018.4.26-28
国内学会	横本 真希[馬越], 馬越 洋宜,立木 美香, 小笠原 辰樹, 兼子大輝, 濱中 佳歩[廣嶋],笹井 有美子, 田上 哲也, 島津 章,成瀬 光栄	悪性褐色細胞腫・パラガングリオーマの骨転移リスク因子の解明	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.26	2018.4.26-28
国内学会	田上 哲也	下垂体にミクロアデノーマを有し診断に苦慮しているSITSHの1例	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.26	2018.4.26-28
国内学会	立木 美香, 馬越 洋宜, 横本 真希,兼子 大輝, 廣嶋 佳歩, 笹井 有美子, 田上 哲也, 島津 章, 成瀬 光栄	褐色細胞腫の診療におけるクリニカルポイント	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.26	2018.4.26-28
国内学会	和田 美智子, 浅原 哲子, 北 誠,日下部 徹, 田上 哲也, 島津 章	偽陽性TRAb（false-positive TRAb）	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.26	2018.4.26-28
国内学会	笹井 有美子, 兼子 大輝, 濱中 佳歩,横本 真希, 小笠原 辰樹,垣田 麻衣子, 馬越 洋宜, 立木 美香,日下部 徹, 浅原 哲子, 田上 哲也,島津 章, 白神 幸太郎, 相川 幸生,玉那覇 民子, 岡田 厚, 成瀬 光栄	急性心不全を契機に診断された心臓パラガングリオーマの1例	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.26	2018.4.26-28
国内学会	成瀬 光栄, 立木 美香, 馬越 洋宜,横本 真希, 小笠原 辰樹, 田上 哲也,島津 章	内分泌救急への対応 褐色細胞腫クリーゼの診断と治療	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.26	2018.4.26-28
国内学会	馬越洋宜、立木美香、成瀬光栄	原発性アルドステロン症における副腎静脈サンプリングの適応と判定基準の標準化	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.26	2018.4.26-4.28
国内学会	馬越洋宜、立木美香、武田仁勇、栗原勲、和田典男、方波見卓行、曽根正勝、成瀬光栄	多施設共同研究による原発性アルドステロン症の副腎静脈サンプリングにおける新たなエビデンスの創出	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.26	2018.4.26-4.28
国内学会	兼子 大輝, 立木 美香, 笹井 有美子,濱中 佳歩[廣嶋], 横本 真希,馬越 洋宜, 日下部 徹, 浅原 哲子,島津 章, 田上 哲也, 広川 侑奨,奥野 博, 森吉 弘毅, 成瀬 光栄	6年間の経過で病型診断が変化した原発性アルドステロン症の1例	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.27	2018.4.26-28
国内学会	小笠原 辰樹, 兼子 大輝, 濱中 佳歩,笹井 有美子, 横本 真希, 馬越 洋宜,立木 美香, 田上 哲也, 伊藤 克弘,奥野 博, 森吉 弘毅, 島津 章,成瀬 光栄	腫瘍細胞性と粘液性の特徴を有する副腎皮質腫瘍の1症例（A case of adrenocortical tumor with oncocytic and myxoid feature）	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.27	2018.4.26-28
国内学会	立木美香、馬越洋宜、成瀬光栄	原発性アルドステロン症の手術/薬物治療における重症度分類の検証	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.27	2018.4.26-4.28
国内学会	田上 哲也	エネルギー代謝調節因子としてのGATAファミリー	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.28	2018.4.26-28
国内学会	田上 哲也	ミトコンドリア脱共役タンパク質を介したエネルギー代謝に関する基礎的検討	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.28	2018.4.26-28
国内学会	田上 哲也	成長ホルモンの直接作用によるUncoupling proteinを介したエネルギー代謝調節	第91回日本内分泌学会学術総会	宮崎	2018.4.28	2018.4.26-28

国内学会	馬越 洋宜, 立木 美香, 成瀬 光栄	原発性アルドステロン症におけるAldosterone Producing Cell Clustersの意義	第41回日本高血圧学会総会	北海道	2018.9.14	2018.9.14-9.16
国内学会	天野 綾, 須川 琢, 兼子 大輝,石原 裕己, 廣嶋 佳歩, 馬越 洋宜,立木 美香, 日下部 徹, 浅原 哲子,田上 哲也, 島津 章, 小笠原 辰樹	Von Hippel-Lindau病（VHL）が疑われた両側副腎褐色細胞腫の一例	第19回日本内分泌学会近畿支部学術集会	大津	2018.10.13	2018.10.13
国内学会	兼子　大輝、須川　琢、 石原　裕己、廣嶋　佳歩、 天野　綾、横本　真希、 馬越　洋宜、立木　美香、 日下部　徹、浅原　哲子、 田上　哲也、成瀬　光栄、 島津　章	成人発症の特発性低ゴナドトロピン性性腺機能低下症（IHH）が疑われる1例	第45回日本神経内分泌学会学術集会	東京	2018.10.27	2018.10.27-2018.10.28
国内学会	石原 裕己, 須川 琢, 兼子 大輝,廣嶋 佳歩, 天野 綾, 横本 真希,馬越 洋宜, 立木 美香, 日下部 徹,浅原 哲子, 島津 章, 成瀬 光栄,田上 哲也	バセドウ病の初発症状として甲状腺クリーゼを呈した3例	第28回臨床内分泌代謝Update	福岡	2018.11.2	2018.11.2-3
国内学会	濱中 佳歩[廣嶋], 小林 真以子[垣田], 立木 美香, 兼子 大輝, 石原 裕己, 天野 綾, 横本 真希, 馬越 洋宜, 日下部 徹, 浅原 哲子, 田上 哲也, 成瀬 光栄, 島津 章	左副腎腫瘍と下垂体macroadenomaを併発した一例	第28回臨床内分泌代謝Update	福岡	2018.11.3	2018.11.2-3
国内学会	馬越 洋宜, 立木 美香, 成瀬 光栄	原発性アルドステロン症におけるAPCCsの臨床的意義	第28回臨床内分泌代謝Update	福岡	2018.11.3	2018.11.2-11.3
国内学会	立木 美香, 横本 真希, 馬越 洋宣,兼子 大輝, 廣嶋 佳歩, 石原 裕己,天野 綾, 田上 哲也, 島津 章,成瀬 光栄	当院における褐色細胞腫の臨床的特徴	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	
国内学会	島 伸子, 小見山 麻紀, 前川 高天,田上 哲也, 勝島 慎二	消化器　消化管疾患の診療 当健診センターにおける上部消化管内視鏡検査で発見された胃癌症例の検討	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	2018.11.9-10
国内学会	立木 美香, 横本 真希, 馬越 洋宣,兼子 大輝, 廣嶋 佳歩, 石原 裕己,天野 綾, 田上 哲也, 島津 章,成瀬 光栄	当院における褐色細胞腫の臨床的特徴	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.9	2018.11.9-10
国内学会	田上 哲也	5大テーマシンポジウム4 若い女性のヘルスケア向上は喫緊の課題 女性に多い甲状腺疾患の自覚症状：NHOネットワーク共同研究より	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.10	2018.11.9-10
国内学会	田上 哲也	ランチョンセミナー 20 明日から役立つ内分泌疾患の診断と治療　A to Z	第72回国立病院総合医学会	神戸	2018.11.10	2018.11.9-10
国内学会	石原 裕己, 須川 琢, 兼子 大輝,廣嶋 佳歩, 天野 綾, 横本 真希,馬越 洋宜, 立木 美香, 日下部 徹,浅原 哲子, 島津 章, 成瀬 光栄,田上 哲也	当院で経験した甲状腺クリーゼ症例の検討	第61回日本甲状腺学会学術集会	川越	2018.11.23	2018.11.22-24
国内学会	須川 琢, 兼子 大輝, 石原 裕己,廣嶋 佳歩, 天野 綾, 笹井 有美子, 田上 哲也	甲状腺片葉にテクネチウム99mの異常集積を認めたBasedow病の一例	第61回日本甲状腺学会学術集会	川越	2018.11.24	2018.11.22-24
国内学会	濱中 佳歩[廣嶋], 立木 美香,兼子 大輝, 石原 裕己, 天野 綾,横本 真希, 馬越 洋宜, 日下部 徹,浅原 哲子, 成瀬 光栄, 島津 章,田上 哲也	頭頸部放射線照射後の甲状腺機能低下症による粘液水腫性昏睡の一例	第61回日本甲状腺学会学術集会	川越	2018.11.24	2018.11.22-24
研究セミナー・シンポジウム等	須川琢、兼子大輝、石原裕己、 廣嶋佳歩、天野綾、馬越洋宜、 立木美香、田上哲也	下垂体と骨粗鬆症	伏見内分泌代謝ネットワーク第29回連携の会	京都	2018.5.10	2018.5.10

研究セミナー・シンポジウム等	石原　裕己	副腎と骨粗鬆症	伏見内分泌代謝ネットワーク第29回連携の会	京都	2018.5.10	2018.5.10
研究セミナー・シンポジウム等	兼子　大輝、須川　琢、石原　裕己、廣嶋　佳歩、天野　綾、横本　真希、馬越　洋宜、立木　美香、日下部　徹、田上　哲也、成瀬　光栄、島津　章	成人発症の特発性低ゴナドトロピン性性腺機能低下症（IHH）が疑われる1例	第51回発育異常研究会	大阪	2018.6.16	2018.6.16
研究セミナー・シンポジウム等	石原　裕己、須川　琢、兼子　大輝、廣嶋　佳歩、天野　綾、横本　真希、馬越　洋宜、立木　美香、日下部　徹、浅原　哲子、島津　章、成瀬　光栄、田上　哲也	精神疾患を疑われた甲状腺クリーゼの1症例～最近の自験例とともに～	第18回京滋臨床甲状腺懇話会	京都	2018.6.23	2018.6.23
研究セミナー・シンポジウム等	兼子　大輝、須川　琢、石原　裕己、廣嶋　佳歩、天野　綾、横本　真希、馬越　洋宜、立木　美香、日下部　徹、浅原　哲子、田上　哲也、成瀬　光栄、島津　章	成人発症の特発性低ゴナドトロピン性性腺機能低下症（IHH）が疑われる1例	第95回京都内分泌同好会	京都	2018.9.15	2018.9.15
研究セミナー・シンポジウム等	石原　裕己、須川　琢、兼子　大輝、廣嶋　佳歩、天野　綾、横本　真希、馬越　洋宜、立木　美香、日下部　徹、浅原　哲子、島津　章、成瀬　光栄、田上　哲也	甲状腺クリーゼの一例	第84回伏見医師学術集会	京都	2018.10.6	2018.10.6
研究セミナー・シンポジウム等	石原　裕己	ACTH高値と両側副腎腫大を認めた一例～指名討論～	第23回京都地区病院研修医・若手医師のための代謝・内分泌セミナー	京都	2018.12.7	2018.12.7
研究セミナー・シンポジウム等	兼子　大輝	肺がん精査過程で副腎腫瘤の増大が判明した一例	第23回京都地区病院研修医・若手医師のための代謝・内分泌セミナー	京都	2018.12.7	2018.12.7
研究セミナー・シンポジウム等	須川琢、兼子大輝、石原裕己、廣嶋佳歩、天野綾、馬越洋宜、立木美香、田上哲也	甲状腺片葉に99mテクネシウムの異常集積を認めたBasedow病の一例	第41回京都甲状腺研究会	京都	2019.2.9	2019.2.9
研究セミナー・シンポジウム等	立木美香	原発性アルドステロン症と心房細動の密接な関連	CHADS2スコアから考える高齢者トータルケア	京都	2019.3.7	2019.3.7
研究セミナー・シンポジウム等	石原　裕己、須川　琢、兼子　大輝、廣嶋　佳歩、天野　綾、馬越　洋宜、立木　美香、日下部　徹、浅原　哲子、島津　章、田上　哲也	当科で経験した甲状腺クリーゼ症例に関する検討	第7回内分泌代謝トランスレーショナル医学塾	京都	2019.3.8	2019.3.8

□ 投稿論文など

分類	著者（当院）	タイトル	著書・雑誌名	vol.	No.	page	編集者等	出版社	発行年月
英文論文（筆頭著者以外）	田上 哲也	Cigarette Smoke Extract Disrupts Transcriptional Activities Mediated by Thyroid Hormones and Its Receptors.	Biol Pharm Bull.	41	3	383-393			2018
英文論文（筆頭著者以外）	馬越洋宜、小笠原辰樹、立木美香、成瀬光栄	Accuracy of adrenal computed tomography in predicting the unilateral subtype in young patients with hypokalaemia and elevation of aldosterone in primary aldosteronism.	Clin Endocrinol (Oxf)	88	5	645-651			2018.5
英文論文（筆頭著者）	和田 美智子,北 誠,日下部 徹,田上 哲也,浅原 哲子,島津 章	False-positive TSH receptor antibody-a pitfall of third-generation TSH receptor antibody measurements in neonates.	Endocr J.	65	5	587-592			2018.5
英文論文（筆頭著者）	横本 真希[馬越],馬越 洋宜,立木 美香,小笠原 辰樹,濱中 佳歩[廣嶋],田上 哲也,島津 章,成瀬 光栄	Paraganglioma as a risk factor for bone metastasis.	Endocr J.	65	3	253-260			2018.3
英文論文（筆頭著者以外）	田上 哲也	GH directly stimulates UCP3 expression.	Growth Horm IGF Res.	40		44-54			2018.6
英文論文（筆頭著者）	中谷 理恵子,村田 敬,臼井 健,森吉 弘毅,米田 俊貴,増田 裕一,小林 真以子[垣田],田上 哲也,河野 茂夫,山田 和範,島津 章	Importance of the Average Glucose Level and Estimated Glycated Hemoglobin in a Diabetic Patient with Hereditary Hemolytic Anemia and Liver Cirrhosis.	Intern Med.	57	4	537-543			2018.2
英文論文（筆頭著者以外）	成瀬光栄、馬越洋宜、立木美香	Clinical characteristics and Postoperative outcomes of Primary aldosteronism in the elderly	J Clin Endocrinol Metab.	103	10	3620-3629			2018.10
英文論文（筆頭著者以外）	成瀬光栄、馬越洋宜、立木美香	The Occurrence of Apparent Bilateral Aldosterone Suppression in Adrenal Vein Sampling for Primary Aldosteronism.	J Endocr Soc	2	5	398-407			2018.5
英文論文（筆頭著者以外）	馬越洋宜、立木美香、横本真希、成瀬光栄	Correlation Between Lateralization Index of Adrenal Venous Sampling and Standardized Outcome in Primary Aldosteronism.	J Endocr Soc	2	8	893-902			2018.5

英文論文（筆頭著者以外）	馬越洋宜、立木美香、成瀬光栄	Development and validation of subtype prediction scores for the workup of primary aldosteronism.	J Hypertens	36	11	2269-2276			2018.11
和文原著論文（筆頭著者）		原発性アルドステロン症診療の標準化コンセンサス・ステートメントについて	Medical Technology	46	1	8-9		医歯薬出版株式会社	2018.1
和文原著論文（筆頭著者）		【明日のために解くべし！ 総合内科問題集】（Question56）45歳の女性 主訴 痣（内出血）ができやすい	Medicina	55	5	685-686		医学書院	2018.4
和文原著論文（筆頭著者）		【明日のために解くべし！ 総合内科問題集】（Question47）54歳の女性 来院理由 耐糖能障害を指摘された	Medicina	55	5	667-668		医学書院	2018.4
和文原著論文（筆頭著者）		【明日のために解くべし！ 総合内科問題集】（Question45）50歳の男性 来院理由 低カリウム血症	Medicina	55	5	663-664		医学書院	2018.4
和文原著論文（筆頭著者）		【明日のために解くべし！ 総合内科問題集】（Question16）27歳の女性 主訴 動悸	Medicina	55	5	589-590		医学書院	2018.4
和文総説・著書（筆頭著者以外）		特集 内分泌緊急症 褐色細胞腫クリーゼの治療	医学のあゆみ	265	2	138-142		医歯薬出版株式会社	2018.4
和文総説・著書（筆頭著者以外）		特集 腎臓・高血圧診療・研究のアップデート原発性アルドステロン症の診断と治療 up-to-date	循環器内科	85	1	81-84		科学評論社	2019.1
和文総説・著書（筆頭著者）		特集 褐色細胞腫・パラガングリオーマ診療ガイドライン2018治療5）褐色細胞腫クリーゼの治療	内分泌・糖尿病・代謝内科	47	6	480-482		科学評論社	2018.12
和文総説・著書（筆頭著者以外）		褐色細胞腫・パラガングリオーマの診断と治療：現状と課題	日本内科学会雑誌	107	9	1772-1778		日本内分泌学会	2018.9
和文原著論文（筆頭著者）		【内分泌性高血圧のスクリーニング指針】褐色細胞腫・パラガングリオーマのスクリーニング指針	血圧	25	4	230-234		先端医学社	2018.4
和文原著論文（筆頭著者以外）		成長ホルモン、インスリン様成長因子-1による脂肪細胞のベージュ化に関する分子生物学的基盤解明	成長科学協会研究年報	41		151-157		成長科学協会	2018.10
和文原著論文（筆頭著者）		【内分泌症候群（第3版）-その他の内分泌疾患を含めて-】副腎 副腎髄質疾患 褐色細胞腫・パラガングリオーマ	日本臨床	内分泌症候群II		220-225		日本臨床社	2018.11
和文原著論文（筆頭著者）		【内分泌症候群（第3版）-その他の内分泌疾患を含めて-】副腎 Cushing症候群 Cushing症候群	日本臨床	内分泌症候群II		66-70		日本臨床社	2018.11

和文原著論文（筆頭著者）		【内分泌症候群（第3版）-その他の内分泌疾患を含めて-】甲状腺　甲状腺機能亢進症　甲状腺中毒性ミオパチー	日本臨床	内分泌症候群I		326-327		日本臨床社	2018.9
和文原著論文（筆頭著者）		【内分泌症候群（第3版）-その他の内分泌疾患を含めて-】甲状腺　甲状腺機能亢進症　甲状腺中毒性周期性四肢麻痺	日本臨床	内分泌症候群I		323-325		日本臨床社	2018.9
和文原著論文（筆頭著者）		【副腎疾患の基礎と臨床-最前線を知る】臨床　副腎皮質癌の最新の知見	臨床泌尿器科	72	6	484-489		医学書院	2018.5

□ 内分泌・甲状腺・高血圧外来 平成30年度看護概況内容

●内分泌・甲状腺・高血圧センターは、小児から高齢者と年齢層も幅広く、また疾患も多様にわたる。

●治療方針や診断確定のために外来での安静採血や負荷試験、検査入院が必要となる事が多い。

●負荷試験や検査に不安をもったり苦痛をともなわないように、また若年層の悪性疾患の方も多く、外来では精神的なフォローにも努めている。

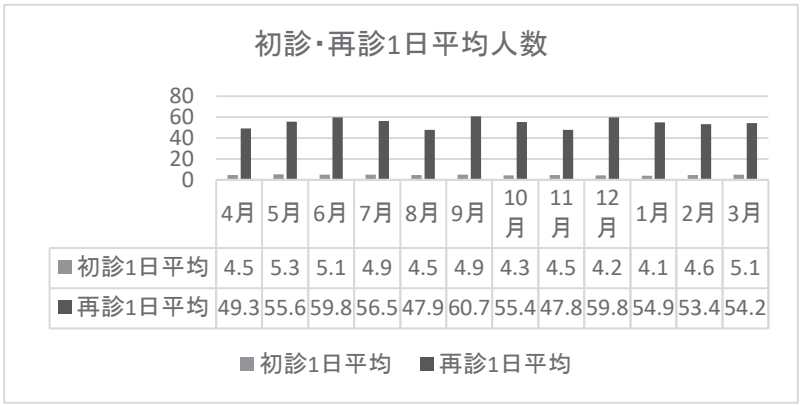
●平成25年1月より、東日本大震災で被災し福島県より避難された放射能影響の可能性がある子どもの方を対象にした甲状腺エコーの協力施設となり、火曜日と木曜日に福島エコー枠を設け実施している。

●平成29年1月より骨粗鬆症・サルコペニア専門外来が開設され、主に整形外科・婦人科・健診センター・他院からの紹介を受け、検査・診断・治療・継続した関わりを行っている。

●疾患によっては服薬や自己注射など長期にわたってコントロールを必要とするため、継続（外来→入院→外来）した関わり、患者の立場に立った援助が行えるように日々心がけている。

外来患者

●他院での検査で甲状腺疾患の指摘を受け受診する患者や、下垂体疾患で治療中だが専門病院での治療目的に来院する患者、高血圧で降圧剤を服用するがコントロールが悪く紹介状を持参して受診する患者が多い。



外来検査・処置

●高血圧疾患が増加しており、副腎偶発腫瘍や原発性アルドステロン症などの鑑別疾患や下垂体疾患評価目的のため外来で安静採血や負荷試験を実施している。

●安静採血はベッドに30分安静になった状態で採血を行っている。



甲状腺エコー

●甲状腺エコーの細胞診検査は穿刺への恐怖と不安感がみられる為できるだけ付き添い状態把握に努めている。

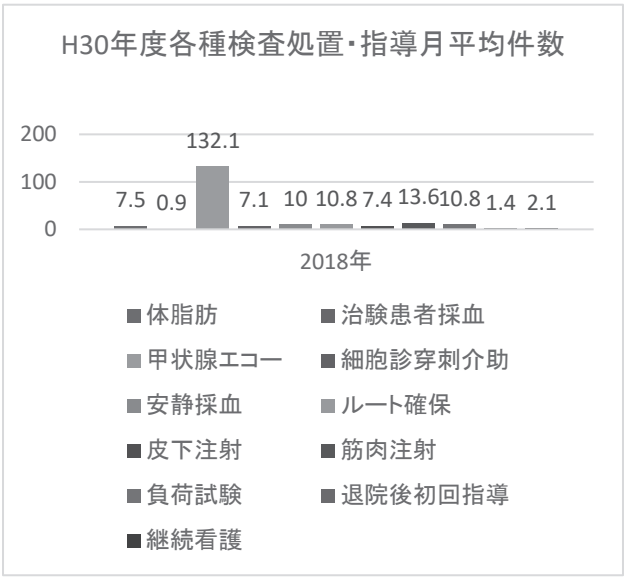
●下垂体疾患では成長ホルモンの筋肉注射が多い。油性のため吸引時、注射時は慎重を要する。

●成長ホルモン自己注射導入では若い患者が多いため外来受診時に患者とその家族に継続的に関わりがもてるように心がけている。

●インスリン自己注射、成長ホルモン自己注射、性腺刺激ホルモン自己注射、骨粗鬆症自己注射指導を外来で導入している。継続して自己注射できるように外来での電話相談や受診時の継続看護も行っている。

●高血圧患者には自宅血圧測定の指導・血圧手帳の記載説明・日常生活指導等を行っている。

●治療目的に入院した患者へは退院後の初回外来時に服薬状況や症状変化の有無等を確認して状態把握に努め、医師と連携を図りながら継続的に関わっている。



内分泌・代謝内科担当看護師　松井 遥